



杉並区立
浜田山小学校

学校だより第551号
令和3年度 6月号

はまだやま

校長 伊勢 明子
副校長 越山 宗治

たくさんの方々に見守られて

校長 伊勢 明子

5月の全校朝会（teams ライブ配信）で、鎌倉街道に面した東門と横断歩道の話をしました。東門対面の路地から通学する児童は、路地から出てすぐの横断歩道を渡り、東門から入校します。しかし、4年前までは、今の東門や横断歩道はありませんでした。路地から出て鎌倉街道を井の頭通り方向に30m行ったところに横断歩道があり、それを渡って校庭中央付近の元の東門から入校していました。鎌倉街道の朝の交通量は多く、子どもたちが鎌倉街道を南へ30m歩くすれすれを車が通行し、雨の日は子どもの傘をかすめるような状況でした。この状況を何とかしたいという学校関係者や町会の方々と学校が区に陳情をして東門と横断歩道の移設が叶いました。現在、この横断歩道には、交通安全指導員の他、毎朝、保護者の方が自主的に立たれ、たくさんの子どもたちを安全に渡していただいている。全校朝会では、保護者の方をはじめ学区域の各所に立たれる交通安全指導員の方や警備員さん、挨拶運動をする6年生の写真を示し、見守られていることに感謝の気持ちをもち、挨拶を交わすことを呼び掛けました。

また、浜田山小学校では、このほかにも手厚い見守り体制があります。PTAのパトロールの他、町会の方々を中心とした緑ベストのPMPはコロナでの時差登校の際も見守りをしていただきました。ピンクベストのさくら会の方々もパトロール活動をしていただいている。また、警備員さんが地域パトロールをする時間帯には、保護者OB等の校門立番ボランティアの方に入校者の対応をしていただいている。このほか、この4月には、PTA前会長の近藤さんが「わんわんパトロール隊」を結成し、愛犬の散歩をする地域の方々に登録してもらい、愛犬の散歩をしながら子どもたちや街の様子に気を配っていただいている。

このように、保護者の方、学校関係者の方、地域の方が交通安全、防犯、健全育成の視点で浜田山小の子どもたちを大切に見守っています。ひとえに次の世代を担っていく子どもたちを大事に思う気持ちがあってこそです。このつながりとかかわりは、きっと災害時にも子どもたちを守るネットワークになることでしょう。お会いしたときには感謝の意を伝えていただければ幸いです。



わんわんパトロール隊の方々

6月の生活目標 『歩き方名人になろう』

梅雨が近づき、雨模様の多い季節となりました。今後、外で思い切り遊べない日が続くことが予想されます。外遊びを楽しみにしている子どもたちにとっては、体を思い切り動かせない日々が続くことになり、例年この時期の廊下や階段での衝突事故は少なくありません。

このような状況をふまえ、6月の生活目標を「歩き方名人になろう」としました。どんな歩き方が名人なのかを考えさせ、担任や看護当番の教員だけががないように注意を呼び掛けています。

また、毎月初めには、各学年・学級でも安全指導として、雨の日の安全な過ごし方について取り上げ、児童に落ち着いた生活を送らせてていきます。そして歩き方名人を増やし、校内での衝突事故ゼロを目指したいと思います。